

死亡編

I 学校の管理下の死亡の状況

◇ 学校の管理下の死亡の発生件数

「学校の管理下の死亡事故」の発生件数の内訳は、表－1に示すとおりである。

表－1 学校の管理下の死亡の発生件数

()内は突然死の件数

		小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所	計	
各教科等	保健・体育	水泳	1					1	
		器械体操	1 (1)					1 (1)	
		陸上競技	1 (1)	3 (3)	2 (2)			6 (6)	
		球技			2 (2)			2 (2)	
		武道			1 (1)			1 (1)	
	その他	1 (1)	1 (1)	2 (2)			4 (4)		
	総合的な学習の時間	1 (1)					1 (1)		
	その他		1 (1)	1			2 (1)		
特別活動	学級活動	ホームルーム		1 (1)				1 (1)	
		給食指導	2 (1)					2 (1)	
		その他						0	
	児童会・生徒会活動							0	
	体育的クラブ活動							0	
	文化的クラブ活動							0	
生産的クラブ活動							0		
	その他			1 (1)			1 (1)		
学校行事	儀式的行事							0	
	学芸的行事	1 (1)		1 (1)				2 (2)	
	健康安全的行事							0	
	体育的行事	競技大会		1 (1)					1 (1)
		球技大会			2 (2)				2 (2)
		その他							0
	遠足・集団宿泊的行事	遠足							0
		修学旅行		1					1
		その他			1				1
	勤労生産・奉仕的行事							0	
その他							0		
課外指導	体育的部活動	球技		3 (2)	7 (4)			10 (6)	
		武道		4 (1)	4 (2)			8 (3)	
		その他						0	
	文化的部活動		1					1	
	生産的部活動							0	
	林間学校							0	
	臨海学校							0	
	水泳指導	1 (1)						1 (1)	
その他							0		
休憩時間	休憩時間中	2 (1)	1	1 (1)				4 (2)	
	昼食時休憩時間中	1 (1)	1 (1)	1				3 (2)	
	始業前の特定時間中	2 (2)		1 (1)				3 (3)	
	授業終了後の特定時間中		1					1	
	その他							0	
寄宿舎							0		
技能連携							0		
保育中					1	1	2		
通学中	登校中（登園中）	徒歩		3	1 (1)		1	5 (1)	
		鉄道						0	
		自転車			2 (1)			2 (1)	
		原動機付自転車			1			1	
	その他							0	
	下校中（降園中）	徒歩	4	2 (2)				6 (2)	
		鉄道			2			2	
		自転車			1			1	
		原動機付自転車			2			2	
	その他	1						1	
通学に準ずるとき							0		
合 計		19 (11)	24 (13)	36 (21)	0	1	2	82 (45)	

1 小学校における死亡の事例

〔I〕各教科

(1) 体育

水 泳

事例1	小1年・男	溺 死
-----	-------	-----

体育授業中、近くの温水プールでの水泳学習を終え、準備のできた児童から学校へ戻っていたが、当時、豪雨で急激に増水し、勢いの強い流れの為、道路側溝のグレーチングがはずれ、2、30cm開いていた。他の児童が、側溝にはまり、助け出されたが、その後本児童の水着袋が発見され、捜索されるも、翌日川中州で発見された。側溝から転落し、流されたものと思われる。

器械体操

事例2	小1年・女	中枢神経系 突然死
-----	-------	-----------

体育の授業中、低鉄棒の上に腰をかける体勢から飛び降りる運動をしていた際、鉄棒から前向きに落下した。地面に倒れているのを他の児童が見ているが、常勤講師は他の児童を指導していたので見ていなかった。鉄棒運動は、20分間。その後、他の児童とともに約10分間ボール運動を行い、さらに整理運動をして授業終了後のあいさつ時に、左上腕部の痛みを訴えた。すぐに保健室へ連れて行き、その後、嘔吐したので病院へ搬送した。診察の結果、脳に出血が見られ、手術を行った。



陸上競技

事例3	小6年・女	心臓系 突然死
-----	-------	---------

体育の授業中、運動会の100m走の練習として本生徒が100mを走った際、ゴールした後に突然倒れ、意識を失った。本生徒は体育の授業が始まる前にウォーミングアップのために200mのジョギングをしてから、体育の授業を受けていた。病院に運ばれる救急車の中から心肺蘇生等の処置がなされ、病院でも続けられたが1時間30分後に死亡が確認された。

その他

事例4	小6年・男	心臓系 突然死
-----	-------	---------

体育の時間に、リレー（トラック半周55m）を自分の走れる速さで走っていたところ、第2コーナーで突然倒れた。

(2) 総合的な学習の時間

事例5	小5年・女	心臓系 突然死
-----	-------	---------

調理実習中、食器を洗っていた際、突然倒れた。倒れたときは、全身が震えすぐにチアノーゼがあらわれた。その後、瞳孔が開き意識不明、心臓停止状態になった。すぐに養護教諭が駆けつけ、意識確認し心臓マッサージを行った。担任が人工呼吸を行い、非常勤講師が脈を確認するなどして心肺蘇生を行った。事件発生直後、教頭が救急車を要請した。救急隊員が到着す

るまで心肺蘇生を続け、救急隊員が到着後はAEDを使用し電気ショックを3回かけるなどし、その後病院へ、校長、担任、養護教諭が同行し搬送した。病院へ到着後、救命処置を受けたが死亡した。

〔Ⅱ〕 特別活動

(1) 学級活動中

給食指導

事例6	小5年・男	中枢神経系 突然死
-----	-------	-----------

給食時間中、腹痛を訴えて保健室で手当てを受けた。その後、保健室で経過観察。本児童はベッドで本を読みながら静養していたが、異変が生じ、嘔吐し、意識が無くなった。

事例7	小6年・女	その他
-----	-------	-----

本児童は、水頭症・孔脳症・脳性麻痺がある重度肢体不自由児である。給食時間中、本児童のペースにあわせ、職員がエンシュア（栄養液）と牛乳を食べさせていた際、一さじ口の中に入れたところ、「ウツ」と詰まらせたようで、すぐさま車椅子から降ろし、口の中のものを出そうとしたが出なかった。

〔Ⅲ〕 学校行事

(1) 学芸的行事

事例8	小1年・女	心臓系 突然死
-----	-------	---------

音楽鑑賞会に出発するため、2階の教室から階段を降りて校庭までの約100mをいつもどおりの歩行で集合し、整列していた。担任が人数確認中、本児童が突然倒れ込んだ。

〔Ⅳ〕 課外指導

(1) 水泳指導

事例9	小5年・男	心臓系 突然死
-----	-------	---------

水泳指導中、準備運動、シャワーの後、プールの横（13.5m）を使って、水中走り1往復、後ろ向き走り1往復、イルカ飛び前後1往復、クロール1往復を泳いだ。その後、プールの縦を（25m）使って50mをクロールで泳ぎ出した。45m付近に来たとき、本児童の泳ぎの動作が止まり、そのままの状態ですわった。なお、本児童は、持病（QT症候群）を持っていた。

〔V〕 休憩時間

(1) 休憩時間中

事例 10	小3年・男	その他
-------	-------	-----

休憩時間中、グラウンドで雪遊びをしていた。雪遊び終了後、本児童がいないことに気づき、担任教諭が探したところ、プールにあおむけに浮かんでいた。凍死のため、亡くなった。

プールの水が防火水槽として指定されていたことからプールは満水状態であり、また、豪雪のため、プールサイドに張ってあったロープをまたいでプールサイドに入れる状況であったことから、本児童は雪遊びをしながらプールサイドまで行ってしまい、誤って足を踏み外し、滑り落ちたことが原因と思われる（現在も検証中）。

事例 11	小5年・女	心臓系 突然死
-------	-------	---------

朝の健康観察で、咳と頭痛を訴えていたが、1・2時限授業をいつもと変わりなく受けた。休憩時間中、友人と歩いていて廊下に出て手すりにつかまって外の様子を眺め、また友人と一緒に教室に入りかけた際、教室前の出入り口の陳列台にもたれてしゃがみ込んだ。友人が声をかけたが返事もなく、その後、体を起こし苦しみながらゆっくりオルガンのほうへ倒れた。知らせを受けた担任と他教員3名がかけつけ、いびきをかいて意識がない状態を見て担任は救急車の手配と保護者に連絡をし、他の教員が応急処置として気道確保を行う。呼吸が弱まり養護教諭の指示により心肺蘇生を始める。救急車にて病院に搬送されるが、正午ごろに死亡する。

(2) 昼食時休憩時間中

事例 12	小3年・男	中枢神経系 突然死
-------	-------	-----------

昼休み、校庭で友人と遊んでいたら突然激しい頭痛が起こり、嘔吐した。「頭が痛い」「助けて」と叫びながら、柱に寄りかかって泣いていた。次第にしゃがんでいき、意識混濁となり、その後倒れた。ICUで治療を受けるが、意識回復することなく、死亡する。

(3) 始業前の特定時間

事例 13	小4年・男	大血管系 突然死
-------	-------	----------

始業前の特定時間中、お話タイムが終わった後、社会見学の迎えに来ていたバスを見るために運動場の門まで走って出て、バスを見送った際、サッカーゴールから対にあるサッカーゴールまでを走り、学級の廊下まで歩いた後倒れる。人工呼吸及び心臓マッサージを行い、救急車で病院へ搬送されるが死亡した。

事例 14	小6年・男	中枢神経系 突然死
-------	-------	-----------

正門を通過中に、登校指導の教諭が異常に気づき問いかけたところ、「頭が痛い」と訴えた。保健室に搬送し、容態観察するとともに、救急車を要請し病院に搬送した。くも膜下出血（脳動脈瘤破裂）と診断され、集中治療室で治療を受けた。その後、頭蓋内出血が3度あり、意識不明、呼吸停止等の症状が伴い、次第に身体機能が低下し、発症から約3か月後に容態が急変して死亡した。

〔Ⅵ〕 通学中

(1) 下校中

徒 歩

事例 15	小1年・男	窒息死
-------	-------	-----

通常通り下校したが、母親の留守が分かっていたため、自宅付近の駐車場で遊んでいたと思われる。母親からまだ帰宅していない旨の電話が学校にあり、職員で捜索を開始し、警察にも捜索を依頼した。捜索の結果、駐車場でカーポートの屋根からの落雪に埋まっていた本児童を発見し、直ちに病院へ搬送したが、死亡が確認された。死因は、落雪による圧迫と窒息であった。

事例 16	小1年・女	その他
-------	-------	-----

1年生4人の班で下校中、三叉路で友人と別れ、本児童が1人で下校することとなり、その後行方不明となった。翌日茨城県の山中で遺体となって発見された。胸部には刺傷が複数あり、この刺傷が原因で死亡したと推定される。

事例 17	小1年・女	窒息死
-------	-------	-----

下校中、事件に巻き込まれ、殺害された。空き地にて死亡しているのが発見される。

事例 18	小2年・男	頭部外傷
-------	-------	------

下校中、友人の帽子が用水路に落ちた際、下校指導のために通りかかった教諭が、用水路を覆っている鉄板を斜めに持ち上げ、その隙間から本児童が中をのぞいていたところ、教諭の手から鉄板が滑り落ち、頭部を挟まれる。直ちに救急車で病院へ搬送するも、死亡した。

その他（自家用車）

事例 19	小1年・女	窒息死
-------	-------	-----

母親の運転する自家用車で下校中、チアノーゼ状態になり呼吸困難となった。帰宅後、救急車を手配しながら心肺蘇生法を施したが、圧迫により嘔吐し、嘔吐物がのどに詰まった状態となり、吸引が不能の状態となった。その後、救急車で病院に搬送されたが、死亡した。

2 中学校における死亡の事例

〔I〕各教科

(1) 体育

陸上競技

事例 20	中3年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

体育の授業で準備運動後に、体力診断テストを実施し、20mシャトルランニングを20往復した後、自分の判断で休憩した。体育館の横側の壁に背をもたれ休憩している途中で体勢が崩れ、気を失った。なお、本生徒は、幼少時から心臓に疾患を抱えており、ペースメーカーを使用していた。

事例 21	中1年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

10分間持久走の授業で、ウォーミングアップ（ジョギング、体操、補強運動）の後、出発。全体の集団が1周目を通過するとき、コーナー付近で1人の生徒が倒れているのを発見し、立つように促したが立ち上がろうとしなかったため、現場へ行き、意識がないのを確認し、心臓マッサージを10分程度行い、救急車に継続した。

事例 22	中3年・女	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

体育の授業中、ウォーミングアップとして500mを走った後、持久走をスタートした際、スタートから300mほど走ったところで、突然ふらつき、崩れるように転倒した。

その他

事例 23	中3年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

本生徒は、小学生のころから心臓に障害があると診断され、これまで継続的に治療を行ってきた。学校での指導区分はC（軽い運動は可）で、医師からは本生徒が疲労を訴える場合は無理をせず休息をとるように指示され、学校でも配慮していた。当日の授業では特に本生徒から疲労を訴える申し出も無く、他の生徒と一緒にウォーミングアップのため軽いジョギングを行っていた。開始して約3分後、4周目に入ろうとした段階（約270m）で右側に崩れ落ちるように倒れ、呼吸はしていたものの意識不明の状態に陥った。

(2) その他の教科

生活単元学習

事例 24	中3年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

中学部3年生の生活単元学習（登山）の実施に伴い、朝、健康観察を行い、体調を確認した後にスクールバスで学校を出発。登山口、市野外活動センターに到着、トイレ休憩後、再度健康観察を行った。登山開始後は、本生徒のペースに合わせて休憩をとりながら教員のサポートのもと登山を行っていた。3合目付近で休憩をし、30mくらい登った時点で本生徒の意思により、再度休憩をするために山を背にして腰をおろした直後の、「はあ〜」と一呼吸ついた後、上半身の力が抜け、前のめりに倒れた。付き添っていた教員がすぐに異変に気づき、呼びかけをした

が応答なく脈拍、呼吸の確認を取るも脈拍触知せず、自発呼吸も認められなかった。

〔Ⅱ〕 特別活動

(1) 学級活動

ホームルーム

事例 25	中1年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

学級活動中、黒板前で発表後自席に戻る。担任は着席を確認後、席替えのくじを作るために隣の教室へ移動（1～2分程度）。教室に戻った際、本生徒が倒れているのを発見し、生徒に職員室、保健室に事態を知らせるように指示。人工呼吸、心臓マッサージを開始する。学年主任が校長に報告し救急車を要請し、母親にも連絡する。救急車が到着し酸素吸入、AED使用により心臓が動き始める。病院に到着後「息を引き取りました」と学校に連絡が入る。

〔Ⅲ〕 学校行事

(1) 体育的行事

事例 26	中2年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

体力テストで、準備運動後、20mシャトルランを行った。教師が、クールダウンを指示し、別のグループのテストを開始しようとした際、床に仰向けで休む本生徒に気がつき声をかけるも、横たわったまま動かず、呼吸・脈が無く意識不明の状態だった。

(2) 遠足・集団宿泊的行事

事例 27	中2年・男	内臓損傷
-------	-------	------

修学旅行中、宿泊先のホテルにおいて、本生徒は2階の自分の部屋からベランダに出て、ベランダ伝いに友人の部屋に行こうとし、誤って約8m下に落下した。

〔Ⅳ〕 課外指導

(1) 体育的部活動

球 技

サッカー

事例 28	中1年・男	焼 死
-------	-------	-----

サッカー部活動中、寒かったため部室内において、本生徒は友人とライターで火をつけ暖を取っていた際、誤ってウレタンマットに火がつき、あわてて消そうとしたが消えず、本生徒は部室に残り消火活動を続け、友人は水を汲みに出た。一度では消えなかったため、友人は再び水を汲みに出たが、火と煙の勢いが強く部室に入ることができなかった。本生徒は火を消そうとしていたが、煙を吸い込み意識を失い、逃げ出すことができず、一酸化炭素中毒となり、焼死した。

ソフトテニス

事例 29	中1年・男	大血管系 突然死
-------	-------	----------

ソフトテニスの部活動中、生徒棟の廊下で1周80mの周回コースを10周ランニングした後、廊下半分の10mを連続5往復するシャトルランをした際、その後、急に気分が悪くなり吐き気をもよおし、手洗い場でうずくまっていた。他の生徒が声をかけたところ、立ち上がり少し歩いて非常扉に顔をぶつけ、そのまま後に倒れこんだ。職員が駆けつけた時に痙攣^{けいれん}を起こしていたので、すぐに救急車を要請した。経過観察のために入院することになり、その後、容体が急変し心停止のため心臓マッサージをしながら救急車で他の病院へ搬送したが死亡した。

野 球

事例 30	中3年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

野球部の部活動中、軽いランニングとキャッチボールをした後、遠投をしている時に急に倒れ、体が痙攣^{けいれん}し、顔色が悪くなった。

武 道

柔 道

事例 31	中1年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

柔道部合宿中、2日目、朝から練習を行い、「しんどい」という発言を何度かしていたが、午後5時ごろには、「インフルエンザのような気がする」と訴え、夕食後シャワーを浴び着替えた後、しばらくしてから意識を失う。救急車で病院へ搬送されたが、翌日死亡する。

事例 32	中1年・男	頭部外傷
-------	-------	------

柔道の部活動中、相手選手の掛けた技（大外刈り）で投げられた際、畳で後頭部を打った。その後、相手に礼をし、監督の話を聞いた後、自席に戻ったとき、崩れるように上向きに倒れた。



事例 33	中3年・男	頭部外傷
-------	-------	------

柔道部活動中、サーキットトレーニングや準備運動を行った後、打ち込み、乱取り、投げ込み等を2時間近く実施した。水飲み場で休憩をとっていた際、体調が悪くなり、休んでいたところ、急にいびきをかき始め意識不明に陥った。

剣 道

事例 34	中2年・男	内臓損傷
-------	-------	------

剣道の部活動中、顧問指示のもと、神社の階段を利用してトレーニングをしていた。ふざけて石灯籠によじ登ったところ、本生徒の重みで、石灯籠の一部が倒れてきて胸を直撃した。



(2) 文化的部活動

吹奏楽

事例 35	中3年・女	窒息死
--------------	-------	-----

部活動で出欠を取ったときに、本生徒がいないのに気づき、部員が探しにいったところ、階段で制服のネクタイを手摺りに掛けて、首が絞まった状態で倒れている本生徒を発見した。

〔V〕 休憩時間

(1) 休憩時間中

事例 36	中1年・男	その他
--------------	-------	-----

休憩時間中、追いかけてこしながら勢い余って教室テラス側窓ガラスを突き破った際、ガラスの破片が右胸に刺さった。その後、校舎外の水飲み場に行き倒れた。駆けつけたとき、意識がなかったため救急車を要請するとともに止血と心臓マッサージを続け、病院に搬送した。



(2) 昼食時休憩時間中

事例 37	中3年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

本生徒は特に既往症はなく、また当日の朝にも特に体調不良を訴えることはなかった。昼食時休憩時間中、体育館で、同級生6人とボールを使って、鬼ごっこをしていた。本生徒は逃げる際、体育館フロア及び2階ギャラリーを通路にして、ステージを登ったり、降りたりして逃げていた。一緒に逃げていた友人によると、本生徒は息苦しそうに息づかいをしていた様子。昼休みが終了し、体育館の清掃時、点呼したところ、本生徒がいないことに気づき探したら、ギャラリーで倒れているのが発見された。

(3) 授業終了後の特定時間

事例 38	中2年・男	その他
--------------	-------	-----

帰りの会終了後、下校するため、体育館北側の自転車置き場へ行く途中、樹木と外柵の間に落ちていた約3mの竹の棒を拾い、竹の棒を振り回したり棒の上を友人に飛ばせたりしていた。そこに本生徒が来て2人は20mほど離れて、拾った竹の棒を投げ合いふざけ合うようになった。友人の投げた棒が本生徒の前3mに落ちた。本生徒はその竹の棒を拾って友人に投げ返したところ、友人の右足に当たった。友人は本生徒の投げた竹の方が遠くへ飛んできたことで、今度は、本生徒の頭を越して竹を投げ返そうと、勢いをつけて投げた際、頭の上を狙った竹が水平に飛び、本生徒は持っていたカバンで竹を防ごうと構えたが、隙間をすり抜け先端の一部（幅約9mm、長さ約15cm）が本生徒の左眼目頭付近に刺さった。連絡を受けた養護教諭他数名の教師が事故現場へ向かうとともに、救急車の要請を行った。目に竹が刺さったという119番情報により、救急隊員はドクターヘリの要請を行い、医療機関に搬送され治療を受けたが、発生から12日後に死亡した。

〔VI〕通学中

(1) 登校中

徒 歩

事例 39	中2年・男	全身打撲
-------	-------	------

登校するために家を出た。その後の行動は不明だが、午前8時前に同じマンション住民の男性が、マンション敷地内に倒れている本生徒を発見し、119番通報した。本生徒の学生かばんとめがねがマンションの9階の踊場に置いてあった。カバンの中や自宅からは遺書らしきものは置いてなかった。また、警察からは遺体の損傷具合や本生徒のものと思われる足跡がある4階から転落した可能性が高いとの報告があった。

事例 40	中2年・男	内臓損傷
-------	-------	------

2学期始業式のため、いつもどおり8時に自宅（マンション4階）を出て学校に行く途中、本生徒が路面で倒れていた。近所の方が本生徒を発見したが、路面に心配停止状態で鼻血を出して倒れていた。発見した近所の方が救急車を要請し、搬送された医療機関において治療を受けたが、事故発生から約2時間後に死亡した。

事例 41	中3年・女	頭部外傷
-------	-------	------

登校中、学校へ持って行く為の古新聞を祖母宅に取りに行き、祖母宅が留守の為玄関に鍵がかかっており、4階のベランダから室内に入ろうとして、誤って転落する。

(2) 下校中

徒 歩

事例 42	中2年・女	心臓系 突然死
-------	-------	---------

下校途中、駅の構内の階段踊り場で転倒した。意識不明の状態を一般客が発見し駅員に通報、駅員の救急車要請通報により、病院に搬送された。本生徒は、持病（QT症候群）を持っており、その悪化と診断された。

事例 43	中3年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

スクールバスで下校中、バス内で10分ほど睡眠し、降車場所に到着後、乗務員の声掛けで目を覚まし、自分で歩いて降車した。その直後、母親と共に歩き出した際、てんかん発作を起こし倒れた。道路脇にうずくまり全身に強く力を入れた状態が続くので、母親が声掛けをしていると通行人が救急車を要請した。救急車にて病院へ搬送後、直ちに救命処置が行われ、発生3時間後には人工心肺装置をつけるに至ったが、発生約3時間20分後に心不全により死亡する。

3 高等学校における死亡の事例

〔I〕 各教科

(1) 体育

陸上競技

マラソン

事例 44	高1年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

体育の授業中、マラソン大会のため学校の外周道路を走っていた際、6.5km走った後、立ち止まり、崩れるように倒れた。

持久走

事例 45	高3年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

体育の授業中、持久走（運動場を出発し学校周辺の道路を3.5km走って運動場に戻って来るコース）を行っていた際、本生徒は30分ほど走って19人中18位で運動場に戻り、ゴール後座っていたが、突然、意識を失いその場に倒れた。病院に搬送され、直ちにAED・心臓マッサージが開始され、およそ40分後に心停止から回復する。翌日午後1時ごろ危篤状態となったが人工透析の治療を開始すると、容態が安定し小康状態となる。人工呼吸器を装着したまま、人工透析・薬物投与などの治療を受けるが、入院後、25日で息を引き取る。

球 技

ソフトボール

事例 46	高3年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

体育の授業中、ソフトボールをゲーム形式で行っていた際、3回裏に打席に着きショートゴロを打ち1塁に懸命に走ったがアウトになる。その後、チームの控え場所に歩いて戻り、近くのコンテナを椅子代わりにし防球ネットにもたれかかり休んでいた。攻守交代になった際、守備につこうとしないため、教諭が傍らに行き様子を確認したところ、意識がないため、気道確保を行うとともに救急車を要請し病院へ搬送した。病院で救急治療を受け、その後保護者の要望で日赤医療センターへ転送し蘇生治療を受けるが、回復せず死亡した。

バスケットボール

事例 47	高2年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

体育の授業中、準備体操としてドリブル、シュート練習等を7～8分行い、授業の説明を5～7分を受け、その後、コート半分を使ってゲーム形式のパス練習を行っていた。4分ほど経過したとき、胸を押さえながら突然座り込み、間もなくそのままの姿勢で倒れた。

武 道

柔 道

事例 48	高2年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

柔道の授業中、相手生徒に足技で腰から倒され、横四方固めで押さえ込まれた際、数秒間抜け出そうとしたが、そのまま動かなくなった。救急車を要請し、医療機関に搬送されたが、約

1時間40分後に死亡した。

その他

事例 49	高1年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

体育の授業中、スポーツテストで反復横とびを20秒間測定していた際、突然倒れた。

事例 50	高2年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

体育の授業中、大会に向け、投てき、幅跳び、短距離走の三班に分かれ、それぞれ練習メニューをこなしていた。本生徒は、災害前の10分から15分の休憩のあと、授業の仕上げとして取り組んだ100m走の練習中、ゴール5mくらい前で、足が二歩程度ふらつき顔から倒れた。

(1) その他の教科

国語

事例 51	高3年・女	頭部外傷
-------	-------	------

国語の授業中、椅子に座ったままの状態です突然左側に転倒し、左側頭部を床に強打した。転倒直後呼び掛けても反応が小さく、小さく痙攣^{けいれん}していた。直ちに保健室に向かい、途中で「痛い」「ワー」などと大声をあげていたが、保健室に到着後は意識を失っていた。

〔Ⅱ〕 特別活動

(1) その他

事例 52	高2年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

体育館において、ダンスを踊り、演出責任者である本生徒は、発表で使用したMDを回収するために放送機器のある所に向かった。放送機器の脇にある収納庫に手を掛けたまま、うずくまっている本生徒を不審に思った放送担当の生徒が声をかけたところ、既に意識・呼吸のない状態であった。なお、本生徒は、高校1年生のときの心電図検査で所見があり、「要精査」であったが、後日の検診結果は、「異常なし」であった。

〔Ⅲ〕 学校行事

(1) 学芸的行事

事例 53	高1年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

文化祭準備のため、一輪車を使って友人と砂利の運搬をしていた。友人に頼んで、一輪車に乗せてもらったところ、突然意識を失って倒れた。

(2) 体育的行事

球技大会

ドッジボール

事例 54	高1年・男	大血管系 突然死
-------	-------	----------

学校行事のクラスマッチにおいて、準備運動終了後、ドッジボールに出場するため、友人と

一緒に座って待っていた。その後、背中が痛み出したため、友人がその旨を養護教諭に伝えに来た。その後、養護教諭とともに保健室へ移動している途中、突然倒れた。

バスケットボール

事例 55	高3年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

球技大会でバスケットボールに出場中、試合開始3分20秒～30秒ころ、ジャンプシュートをし、着地して振り返りながら走っていたところ、急にふらつきながら倒れた。呼名したが、呼吸も弱く、別の教諭が駆けつけたときは、脈も呼吸もなかった。試合開始と同時に一気に動き出し、見学していた教諭、生徒は「大丈夫だろうか」と思うくらいテンションが高かったようである。

(3) 集団宿泊的行事

事例 56	高2年・女	溺 死
--------------	-------	-----

野外活動のカヌー実習をしていた。先行するカヌー2隻がカーブのテトラポットに張り付くように留まっていたため、被災生徒の乗ったカヌーは、それらのカヌーを避けようと必死に漕いだ。カヌーのバランスが崩れ転覆し、水中に投げ出された。そのまま流され、その後、捜索していた消防隊員によって水中で発見された。

〔IV〕 課外指導

(1) 体育的部活動

球 技

サッカー

事例 57	高2年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

サッカー部の活動で、準備運動後に社会人との練習試合（30分、3セット）を行った。本生徒は1セット目を見学し、2セット目はラインズマンとして参加して、約10分間のウォーミングアップ後、最終セットに参加した。試合終了1分前に味方のゴールキックになったので、自分のポジションに戻って来た時、グラウンドの中央で突然倒れた。なお、本生徒は出生直後に心臓に異常が認められ、幼少時に手術も受けていたことから、部活動においては、無理をさせないように配慮がされていた。

事例 58	高3年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

サッカー部活動中、準備運動後のランニング中、ゴール少し前で、スピードが落ちた後、突然倒れた。

ソフトボール

事例 59	高2年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

ソフトボール部活動中、各種の部分練習後、試合練習に入った。ホームランを打ち、1周し、ホームベース付近でハイタッチをしながら、1塁側ベンチ後方へ回り込み転倒した。

バレーボール

事例 60	高2年・女	中枢神経系 突然死
--------------	-------	-----------

バレーボール部活動中、吐き気を訴え、嘔吐した。他の生徒の保護者が自宅まで送ったが、容態が悪く、救急車で病院へ搬送した。そのまま搬送先の病院で検査をして入院・手術をしたが、意識が戻らず病院で死亡した。死亡の直接の原因は、小脳出血であった。

ラグビー

事例 61	高2年・男	その他
--------------	-------	-----

県選抜Aチームと他県選抜Aチームのラグビー練習試合中、味方チームにパスをしたところへ相手プレーヤーに胸の辺りにタックルを受け、そのまま左側面から倒れ、「肩が痛い」と言った後、呼吸停止となる。

事例 62	高3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

ラグビー部活動で、試合中、相手選手にタックルを行った際、相手選手の左腰骨に本生徒の右側頭部が激突した。

事例 63	高3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

ラグビー部合宿中での試合の際、ボールをキャッチした相手が直進後ステップを踏んだため、タックルに入ったとき、頭部右側が相手の骨盤に激突しその場で倒れた。直ちにトレーナーが駆け寄り、意識確認を行い問いかけに反応はあったが、グラウンドから連れ出す途中で意識がなくなった。

武 道

柔 道

事例 64	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

柔道の部活動に参加し、当日は蒸し暑く、ふだんより若干軽めの練習を行った。練習中の様子については、特に変わったところはなく、むしろふだんよりは頑張っているという顧問も、数名の生徒たちも感じていた。また、練習中は、顧問や生徒同士の会話でも、頭部を打撲したことや、異変は認知できなかった。練習後は、最後に部室を出た主将に「しばらく寝て帰る」と言って別れた。保護者から連絡を受けた担任が学校を捜索したところ、部室で亡くなっている本生徒が発見された。検死の結果は頭部打撲による右硬膜下出血であった。

剣 道

事例 65	高1年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

剣道部の活動中、午前9時ごろから正午ごろまで、約1時間ごとに15分の休憩をとりながら、素振り、切り替えし、面打ち、懸かり稽古などの練習を行った。清掃、後片付けの後、昼食休憩をとり、体育館脇の階段に座った。午後2時ごろ、体育館脇で意識が無く、仰向けに倒れているところを発見された。

事例 66	高2年・男	心臓系 突然死
--------------	-------	---------

他校体育館で、合同合宿中、本生徒が元立ちとなり打ち合いを開始して約20秒後、突然、自分から前のめりに倒れこんだ。直後、一度顔を上げたが、再び床にうつぶせになった。

ボクシング

事例 67	高1年・男	頭部外傷
-------	-------	------

ボクシング部活動中、運動準備後シャドーボクシング、マスボクシングを行っていたが、途中で気分が優れず、グローブを外しボクシング場を出た。そして、マウスピースを洗うため体育館わきにある冷水器へ向かったが、その後、冷水器付近でうずくまり意識不明に陥った。

〔V〕 休憩時間

(1) 休憩時間中

事例 68	高2年・女	心臓系 突然死
-------	-------	---------

体育（水泳実技）の授業中、本生徒は肥大型心筋症により医師から運動を禁止されていたため、友人と2人でゆっくり30分体育館の中を歩いていた。授業終了後、友人と下駄箱で上履きに履き替え歩きだしたとき、「気持ち悪い」と体調不良を訴え、そのまま前のめりに倒れた。

(2) 昼食時休憩時間中

事例 69	高2年・男	頭部外傷
-------	-------	------

昼食時休憩時間中、4階生徒会前の廊下で、中庭側窓に腰掛けていた際、バランスを崩して後ろ向きに転落した。救急隊員による心肺蘇生を受け、救急車で病院へ搬送されるも死亡した。

(3) 始業前の特定時間中

事例 70	高2年・男	大血管系 突然死
-------	-------	----------

朝、遅刻をして登校してきた際、1階の昇降口から教室のある5階まで走って階段を上ってきたようである。教室で椅子に座り「朝の読書」を始めようとしたところ、吐き気を催しているような声を発したので、担任は初めふざけているものと思ったが、引き続いてそのような状態が見られたので、異変を感じて本生徒の側に歩み寄った。体がふらついていたので床に寝かせた。

〔VI〕通学中

(1) 登校中

徒 歩

事例 71	高2年・男	心臓系 突然死
-------	-------	---------

通常通り、自転車で駅に向かい、駅近くに自転車を置き、徒歩で改札口へ向かっていた際、駅前ロータリーのバス停付近で不整脈のため突然倒れた。

自転車

事例 72	高1年・男	大血管系 突然死
-------	-------	----------

部活動の練習のため、自転車で登校中、呼吸が苦しくなった。自転車の運転もできないほど、苦しくなったため、運転をやめて顧問と部長に連絡後、その場に倒れた。

事例 73	高3年・女	焼 死
-------	-------	-----

通常通り、自転車で登校中、「灯油のようなものをかけられ、火をつけるように脅された」と言って、近くの民家に助けを求めた。重症熱傷の治療を集中治療室で受けていたが、敗血性ショック状態となり、死亡した。

原動機付自転車

事例 74	高2年・男	頭部外傷
-------	-------	------

原動機付自転車で登校中、自宅を出て県道を利用し、ダム近くの路上で運転を誤り転倒し、頭部を強打する。



(2) 下校中

鉄 道

事例 75	高1年・男	全身打撲
-------	-------	------

通常の通学路で、上り電車に乗るために、友だちと二人で最寄り駅に向かった。橋を渡り、ホームに降りるときに、友だちに自分のかばんを預けてホームに向かった。友だちは何のことがわからず、待合室に向かった。そのとき、上り貨物列車が接近、突然急停車する音で、友だちが後を振り向いたが、そのとき本生徒の姿はなかった。本生徒は、その貨物列車にひかれて死亡した。

事例 76	高1年・男	頭部外傷
-------	-------	------

部活動終了後、自宅最寄り駅より自転車で下校中、停車している電車がまだ発車しそうにないと思ったのか、誤って踏切内に自転車を持って入り、特急電車と衝突した。

自転車

事例 77	高1年・女	頭部外傷
-------	-------	------

サッカー部（マネージャー）活動後、自転車で下校中、路上に自転車ごと転倒し、意識不明状態のところを通行人に発見され、消防署及び学校に電話で連絡して、救急車で病院に運ばれた。

原動機付自転車

事例 78	高3年・男	頭部外傷
-------	-------	------

部活動（和太鼓）を終えて、小学校に太鼓を収納して、原動機付自転車で帰宅する途中、反対車線の歩道付近にいた生徒を見て、本生徒が運転しながら片手を上げて挨拶した。その際、前方への注意が散漫となってセンターラインをオーバーし、反対車線を走行していたクレーン車と正面衝突した。

事例 79	高4年・男	内臓損傷
-------	-------	------

原動機付自転車で下校中、友人のバイクに先行して道路を走行中、路面のライン引き作業の為停車していたトラックの存在に気がつかなかったのか、そのままトラック後部左側に激突し、その衝撃で、原動機付自転車は大破し、路上に跳ね飛ばされる。

4 幼稚園における死亡の事例

〔Ⅰ〕保育中

事例 80	幼6歳・女	その他
-------	-------	-----

保育中、縄跳びの縄を自分の首に結びつけ、一方をすべり台のすべり口のアームに結び、仰向けのまますべり、首吊りの状態となり、意識不明となる。

5 保育所における死亡の事例

〔Ⅰ〕保育中

事例 81	保6歳・男	窒息死
-------	-------	-----

保育中、園庭で集団から外れ4名で遊んでいた際、もう一人の園児とともに保育所の屋根からの落雪に巻き込まれ生き埋めとなる。発見されるも意識がなく、窒息による死亡となった。

〔Ⅱ〕通園中

(1) 登園中

事例 82	保6歳・男	溺死
-------	-------	----

保育園に行くため、本児が先に団地3階より下に降りた。母親が降りてくるのを待っている間、近くの水路に行った。柵が設けられていたが、その隙間（45cm）から中に入り、転落し溺水した。